

いいね！清川



木更津市立清川中学校だより
令和7年9月4日
No.5

文責 長島 田鶴子

～自ら動く 仲間と動く 信じて動く～

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。また、先日はお忙しい中、引き渡し訓練にもご協力いただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2学期のはじめに



始業式では、2学期に向けて成長を促す話をしました。概要をご紹介します。

いよいよ2学期が始まりました。夏休み前に立てた目標を覚えているでしょうか。そして、目標は達成できたでしょうか。今回、目標が達成できたのであれば、もちろん素晴らしいことですが、達成できなくても次から頑張ればよいと思います。達成できたなら、なぜ達成できたのか、達成できなかったのなら、なぜ達成できなかったのか、理由を考えることが大切です。学級で2学期目標を立てると思います。先生から言われたから、なんとなくそれらしい目標を立てるのではなく、本当に自分が達成したいことを自分のこととして考えて目標を決めてほしいと思います。また、目標は覚えていたけれども達成できなかった人は目標に向かって計画的に取り組むことが必要だと思います。失敗しても良いのです。どこかで自分で決め失敗を生かして行こうと本気で努力することが大切です。

次に、課題を例にとって中学校の生活について、少し考えてみたいと思います。小学校では、少しの量の課題が毎日出されていました。毎日締め切りが来るので、溜まることはありませんでした。しかし、中学校では定期テストの頃にまとめて締め切りが来るので、計画的に取り組まないと提出することができません。課題が溜まらないという点では小学校の方が良いと感じる人もいるでしょう。しかし、皆さんは4～10年後には社会人として活躍する時が来ます。大人になると、自分で計画を立てて仕事をし、周りの動きを見て自分がどう動くべきか決めなければなりません。そこを目指して、高校では課題についてあまり催促はされず、減点されることになります。中学校では高校よりは少し丁寧に「課題出てないよ」と注意を促します。社会に出て困らないように、少しずつ大人に近づいた課題の出し方になっていくわけです。夏休みの課題が終わっていない人もいるかもしれません。失敗はしても良いのです。大切なことは失敗をどう生かすかです。失敗の後、先生や友達に相談してその後をどうするか解決方法を自分で決めて行くことが大切です。3年間はあっという間です。後悔のないよう、大切に生活を送り、実りある2学期にしてほしいと思います。

2学期が始まり、普段の学校生活が戻ってきました。生徒によっては窮屈に感じたり、夏の疲れもあったりして、気分が落ち込むことがあるかもしれません。生徒には、悩み事があれば話してみるように伝えました。また、学校にはスクールカウンセラー（SC）や心の相談員も勤務しております。生徒・保護者の皆様が直接相談することも可能です。ご家庭でもお子様の様子に心配がございましたら、学校へもご相談くださいますようお願いいたします。

部活動について

2・3年生の生徒と保護者の皆様には昨年度末、1年生の生徒と保護者の皆様には入学式後に、部活動数の縮小についてご説明させていただきました。その際にお話した手順の通り、令和8年度から募集を停止する部活動を決定いたしましたのでお知らせします。

現1・2年生の部員数、チームに必要な人数、指導できる教員の確保、クラブチーム等受け皿の有無など、様々な方向から検討を重ね、サッカー部と女子バスケットボール部に決定させていただきました。

生徒には、活動を頑張ってきたことについて素晴らしいと思っていること、1年生が3年生になるまで活動できるようバックアップしていくことなどを伝えました。

本校の生徒数が減少していく中、部活動の充実と安全な運営を担保するため、学校としても断腸の思いで部活動数の縮小に踏み切りました。ご賢察の上、ご理解いただけますようお願い申し上げます。また、生徒の様子等お気づきの点がございましたらご教示くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。